

にいはま 環境かわら版

2021年6月
第3号
環境保全課
65-1512

お待たせしました。環境かわら版第3号です。さて、新型コロナの感染対策期が、ようやく5月31日に解除になりました。ワクチン接種も集団接種が始まりましたが、市民全員に行き渡るまでには、まだしばらく時間はかかりそうです。元の生活（地球環境）を取り戻すためにも、気を緩めることなく、市民一丸となって感染回避行動（地球温暖化対策）の徹底をお願いします。それでは今月号御覧ください。

新居浜市地球高温化対策地域協議会！

皆さんは、地球高温化対策地域協議会をご存知ですか？ 高温化？温暖化の間違いじゃないのか？ いいえ高温化で合っています。かけがえのない自然・環境を未来の子供たちに残すため、市民・事業者・行政等が協力して、新居浜市における地球高温化防止に関する対策等を協議・調整し、継続的かつ積極的に取り組むことを目的に平成21年に設立した組織で、その際に、もはや地球温暖化というような生易しい状況ではないと、敢えて、地球高温化という名称としています。

現在、約300の団体、事業者、個人に参画いただき、地球温暖化防止を市民運動として盛り上げ、一体となって地球温暖化対策に取り組もうと、今年度は、マイバッグ持参推進、節電・節水、ごみの減量、環境学習の取組推進、車に頼らないエコ交通の推進、COOL CHOICEの6事業を柱に、出前講座や広報、普及啓発を行っていきます。

なお、6月19日に総会&鳥越俊太郎氏を招いての環境学習講座を予定していましたが、コロナ禍の中、大変残念ですが、中止とさせていただきました。環境学習講座については、講師の都合、会場の確保、コロナの状況と条件が整えば、再度、日程調整をしての開催も検討したいと思います。

さて、地球高温化対策地域協議会では、趣旨に賛同し、共に活動してくれる新たな仲間を募集しています。団体・個人は問いません。一緒に地球温暖化対策に取り組みませんか？ 詳しくは、ホームページをご覧ください。環境保全課までお問い合わせください。

Let's study 地球温暖化

Vol. 3

地球温暖化対策をめぐる国際的な動向

2015年12月にフランス・パリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）では、全ての国が参加する公平で実効的な2020年以降の法的枠組として「パリ協定」を採択しました。パリ協定は、世界共通の長期目標「世界の平均気温上昇を2℃未満に保つ（1.5℃に抑える努力をする）」を掲げ、主要排出国を含む全ての国が、今世紀後半には人間活動による温室効果ガス排出量を実質的にゼロにするため、排出量削減目標を定め提出すること、その達成のための国内対策をとっていくことを義務付けています。

さらに、2018年10月には「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」が1.5℃特別報告書を公表し、「世界の平均気温は産業革命前からすでに1℃上昇しており、現状は2100年に3℃上昇すると予測され、このままいくと2030年から2052年に1.5℃上昇に達する可能性がある」と指摘しています。また、「世界平均気温上昇がパリ協定の掲げる2℃ではなく、1.5℃に抑えることができれば、気候変動の影響による災害リスクは軽減できる」と更なる対策強化を促しました。

ところで、グレタ・トゥーンベリさんをご存知ですか？ ニュース等で知っている方も多いと思いますが、2018年にポーランドで開催されたCOP24で、当時15歳の彼女が、各国の政府代表者に向けてこうスピーチしました。「あなた方は、自分の子供たちを何よりも愛していると言いながら、その目の前で、子供たち未来を奪っています。」……どうですか？ 子供たち未来を守るのは、この時代に生きる私たちの使命ではないでしょうか。一方、国内の動きは、……おっと、ページがなくなってしまいましたので、続きは次号で。

【編集後記】

例年よりずいぶん早い梅雨入りですが、奇跡的に土日は晴天が続いています。コロナで外出自粛の中、目下の趣味は家庭菜園で、無心に土と戯れた後、風呂上がりに飲むピールは最高です。もちろん無農薬の新鮮な野菜を家族に食べさせたいとの思いもあるのですが、キャベツに青虫がいると大騒ぎされたり、カレーにグリーンピースを入れて子供にガチギレされたりと、うまくいかないものですね。（K）

